

国際緊急援助隊医療チームに「高知から2人目！」

～モザンビーク・サイクロン被害への医療活動に、田野病院薬剤師が参加～

5月20日、勤務先の田野病院にて報告会を実施します



今年3月15日にモザンビークを襲った大型サイクロンの被害は広範囲に及び、およそ180万人が被災しています。日本はこの災害に対し、医師、看護師など27名のJDR医療チームを被災地に派遣し、チームは4月2日から、モザンビークのサイクロン被災地で診療活動を実施しました。

この医療チームに、高知県からは、1991年イラン派遣以来2人目（3回目）として、高知県在住・医療法人臼井会田野病院勤務の薬剤師、齊藤 忠男（さいとう ただお）さんが参加し、3月28日から4月10日の派遣期間中、グアラ・グアラ地区にて診療活動されました。齊藤さんは、自身が大分県で災害に遭遇時、医療援助チームの活動を目の当たりにし「国際緊急援助隊（JDR）」への参画を目指すようになり、2016年にJDRに登録。登録後、今回が初めての出勤となりました。

つきましては、5月20日（月）17:45～15-20分程度、田野病院のスタッフ（他、高知県医事薬務課災害対策室の職員等）20-30名を対象に、活動報告を行います。

厳しい環境の中で頑張っておられた齊藤さんのご活躍を地元高知で広く知っていただく機会として、また、高知県もいずれ国際援助を受け入れる可能性を鑑み国際援助の様子を発信する機会として、ご取材をご検討いただけましたら、幸いです。

■2019年5月10時点 医療チーム登録者数

	医師	看護師	薬剤師	医療調整員	計
計（内高知在住者）	276(1名)	386(2名)	54(1名)	242(1名)	958(5名)

※ご相談いただけましたら、現地活動の資料映像も用意できます。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 四国センター 業務課 山科 恵美

TEL 087-821-8824 e-mail : Yamashina.Emi2@jica.go.jp